

子どもの発達における家庭の役割 2

子どもの社会性を育てる

日本発達心理学会では、研究の知見を社会に還元するため、一般公開の研修会を行っています。第2回は、社会性の育ちについて、家庭の役割、アタッチメント、道徳性の発達、家庭外の場との関係など、様々な観点から考えていきます。

日時：2024年6月30日（日）13:00～16:00

方法：オンライン開催（Zoomウェビナー）

参加費：無料 定員：先着500名

遠藤利彦（東京大学）

「安心感の輪」が拓く子どもの未来 アタッチメントと自己・社会性の発達

幼少期に、子どもが自分の一番近くにいる大人とどんな関係を持つことができるかということが、子どもの育ちの鍵となることは言うまでもありません。今回は、主にアタッチメントという視点から、子どもの自己と社会性の発達について考えてみたいと思います。

清水由紀（早稲田大学）

文化の中で育つ子どもの道徳性

何が良くて何が悪いかという道徳的な価値観は、文化間で共通の部分があれば異なる部分もあります。子どもの道徳性の発達や、社会性をめぐる養育者とのコミュニケーションが、異なる文化でどう見られるのかについて、研究結果をもとにお話しします。

藤野 博（東京学芸大学）

家庭・学校・地域 発達障害のある子とサードプレイス

発達障害のある子どもたちが自分らしさを生かしながら好みの活動に没頭し、他児との交流を楽しめる家庭、学校に次ぐ第三の居場所「サードプレイス」の意義と、それが子どもの社会性の発達に与える影響についてお話しします。

申し込み方法

2024年3月15日 受付開始

右のリンク先から事前参加申し込みをお願いします。



<https://jsdp.jp/contents/workshop-symposium/koukai2024.html>